

定例公安委員会の開催状況について

令和6年6月27日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会審議事項

(1) 交通規制の実施について（信号機の新設）

交通規制の実施について説明がなされた後、審議が行われ決定した。

各委員から、道路を横断する児童等歩行者の安全を確保するために必要であり妥当である旨の発言があった。

2 定例会報告事項

(1) 警察活動における暑熱対策の推進について

警察活動における暑熱対策の推進について報告があった。

委員から、地球温暖化に伴う暑熱対策として説明のあった施策は有効だと思うことから、職員間で協力して対策を取っていただき、体調の異変に周囲が気付くことができるよう、炎天下では複数人での行動を心掛けていただきたい旨の発言があった。

委員から、警察活動において、特に酷暑時にどのような暑熱対策を行うかは、業務マネジメントの一環であると考える旨の発言があった。

委員から、警察官がサングラスを着用することについて、しっかりと広報していただきたい旨の発言があった。

警務部長から、暑熱対策として効果的なものは取り入れ、また、県民に対してしっかりと広報してまいりたい旨の発言があった。

(2) 少年補導員の活動について

少年補導員の活動について報告があった。

委員から、犯罪少年の検挙数が2年連続で増加し、初発型非行が増えていることを再認識した旨の発言があったほか、今後も統計結果からの分析や対策についての報告をいただきたい旨の発言があった。

委員から、社会の経済活動が再開していく中で、子供たちに気の緩みが生じているのかもしれないことから、そのような視点で考えたときに何が原因なのかを踏まえて対応策を打っていただきたい旨の発言があった。

委員から、子供たちと大人との対話会の機会を作り、相互の価値観を伝え合い、子供たちの考え方を知った上で指導していく必要があると感じている旨の発言があった。

(3) 三者通話による110番受理訓練の実施結果について

三者通話による110番受理訓練の実施結果について報告があった。

情報通信部長から、警察の通信機器であるPⅢ（ポリストリプルアイ）に翻訳アプリが導入されており、そのアプリの自動翻訳機能を利用している旨の説明があった。

委員から、警察官が現場臨場した際に、翻訳アプリを使用することはできるのか旨の質問があり、生活安全部長から、地域警察官はPⅢを装備していることから、現場では翻訳アプリを使用することができる旨の説明があった。

委員から、日本語を話せない外国人からの通報は、インバウンドの増加により今後も増えていくことが予想されることから、訓練をしっかりと行うとともに、DX化により言葉の壁を乗り越えることを意識した活動をしていただきたい旨の発言があった。

委員から、翻訳アプリと部内指定通訳員を介した三者通話を状況に応じてできるようにしっかりと訓練していただきたい旨の発言があった。

(4) 在留外国人の安全の確保に向けた総合対策の推進について

在留外国人の安全の確保に向けた総合対策の推進について報告があった。

委員から、在留外国人が日本と自国との文化等の違いから、犯罪に巻き込まれたり、被害者や加害者にならないように啓発活動を行うことは重要なことである旨の発言があった。

委員から、今後、在留外国人が増えていくと思われることから、外国人が関係する犯罪が起きない体制をいかにして整えるか、他県警等との連携も含めてやっていただきたい旨の発言があった。

委員から、受け入れる企業に対し、技能実習生には日本の法律をしっかりと学んで犯罪者や被害者にならないように指導していただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

- 運転免許行政処分審査
警察本部から、運転免許の取消処分にかかる意見の聴取、聴聞結果について説明を受け、決定した。
- 警察本部代替施設用回線の変更についての説明
警察本部から、警察本部代替施設用回線の変更について説明があった。
- 青森県公安委員会からの援助要求
警察本部から、青森県公安委員会からの援助要求について報告があった。
- 期限切れ飲酒検知管の使用事案について
警察本部から、期限切れ飲酒検知管の使用事案について報告があった。
- 直轄警察犬の死亡について
警察本部から、直轄警察犬の死亡について報告があった。
- 審査請求の受理について
警察本部から、審査請求の受理について報告があった。
- 「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会における講演内容について
警察本部から、「山形県テロ対策パートナーシップ推進会議」総会における「サイバー攻撃の現状と対策」の講演内容について報告があった。